

立教開宗会



日蓮宗管長 内野日総猯下御親修

清澄

平成27年5・6月
合併号

発行所
〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322-1

© 清澄寺
TEL 04 (7094) 0525 番
FAX 04 (7094) 0527 番
振替 00140-5-55501

印刷所
天津 (有)ブラザー印刷
送料共1部100円

立教開宗会

4月27日午後2時より、
第763回立教開宗会慶讃
音楽大法要が、清澄寺住職
日蓮宗管長・内野日総猯下
を大導師に、副導師には、
二宮別當、並びに上村貞雄
僧正(千葉県南部宗務所長・
妙蓮寺住職)、式衆に千葉
県南部声明師会雅楽部各聖
御出仕の下、厳修されまし
た。

来賓として、小林順光宗
務総長御名代・塩崎望巳総
務局長、大本山誕生寺 石
川日命猯下御名代・橋本執
事長、本山鏡忍寺 原日透
猯下、本山妙覚寺 村田日
浄猯下、宗務院 小林正雄
宗務総長室長、日本山妙法

お知らせ

7月

21日8:00~15:00

22日8:00~12:00

妙見宮大祭

27日19:00

信行会(唱題行)

8月

1日11:00

大施餓鬼会法要

10日13:00

孟蘭盆会法要

27日19:00

信行会(唱題行)

寺様、管内寺院様はじめ、
全国和讃会、檀信徒等、約
130名が参列され、法要
は有志による和讃奉納から
始まり、声明師会による声
明や雅楽の演奏によって荘
厳な音楽法要が執り行われ
ました。

法要後には、本願人推挙
式が行われ、

大本願人

吉田 幸 司様

が、当日御出席下さり、二
宮別當より本願人の証書を
授与されました。

大本願人

外山 伊佐子様

本願人

内田 美智子様

橋堀 英 廣様

鈴木 猛様

が、推挙されました。
内野管長猯下は御挨拶の
中で、各地の自然災害犠牲
者諸霊位のご冥福、被災地
の早期復興のご祈念をさ
れ、そして、ご参列の方々
と共に大聖人に対して、報
恩の誠を捧げることが叶っ
た無上の法悦に感謝され、
最後に『久遠のお釈迦様の
ご功德が具わるお題目を持
ち、このお題目を頼りにし
て、志高く自己の変革に取
り組んで参りましょう。
そして、自分ばかりか、
世界中の人々が、笑顔で安
楽に暮らせる社会が来るよ
うに、法華の信奉者として、
この社会づくりを目指して
努力精進していきましょ
う。』と述べられました。

本院改築撥遣式

4月21日11時より、二宮別當導師に、当山山務員出仕のもと、建設委員、総代、工事業者の(株)三山商店の方々に、ご参列いただき本院解体の撥遣の儀が執り行われました。

宮崎執事長修法導師によるご祈祷、参列者全員での



撥遣式の様子



解体工事が始まった本院(太玄閣前)

唱題、回向の中に於いて解体作業又付帯作業が安全に進み、改修から改築建て直しへと変わった本院の無事完成と当山の益々の繁榮が祈念されました。
※5月より建設委員に千葉県南部宗務所長 荻野泰継師が新たに就任されました。

平成26年度

第4回僧道林

3月26日より30日の4泊5日で、「平成26年度第4回僧道林」が開校されました。

新潟県妙経寺修徒・遠藤龍潤主任をはじめ、教職員7名が、22名の林生の訓育に努められました。



僧道林生は、法友として互いに励ましあい、正しい教えを社会に広める人になる「将来の使命」を自覚するという沙弥の誓いを心にかたく誓い僧道生活に臨まれました。

生活指導に始まり衣帯指導・声明練習・読経練習・食事作法・所作指導等の教師としての基本姿勢の実践修行に励まれました。

平成27年度 第1回 度牒交付式

平成27年度第1回度牒交付式が、4月2日から3日にかけて行われました。

今回は、総勢40名の僧侶をを目指す方々が、大聖人出家得度の地で同じく度牒の交付を受け、僧侶としての第一歩を踏み出しました。

師僧と共に全国各地より来山された度牒生は、信育道場にて法式所作や読経試験を行いました。

その後、祖師堂にて翌朝の度牒交付式の予行練習を

し、摩尼殿に於いて御開帳、並びに縁起説明を受けられ、精進料理の夕食を食べた後、千葉県南部布教隊の法話を聴聞、ビデオ鑑賞等、目まぐるしい日程ながらも、深く仏教に浸る事の出来た時間となりました。

翌日は、旭が森にて旭日遙拝を予定していましたが、生憎の悪天候により中止となりました。

降りしきる雨の中、午前6時より祖師堂にて、小林順光宗務総長を大導師に、度牒交付式が挙行されました。

法要後、小林順光宗務総



長から度牒生に対して、お祝いと激励の言葉が送られました。

希心会

登山修行

本年も希心会の皆さんが、連日にわたり登山修行をされ、4月4日より5月24日まで述べ約5000人の会員の皆さんが登山されました。

会員の皆さんは、御題目が書かれた行衣を身にまとい、お昼過ぎに山の中腹から行列を組み、御旗を先頭に日蓮大聖人の歩まれた旧道を中心に徒歩で、お題目を唱えながら清澄寺に到着されました。



お題目を唱えながら歩く希心会の皆さん

その後、すぐに信育道場に集合し修行をはじめ、夜翌日は、早朝暗いうちから旭が森にて修行を致します。

当山の祖師堂での朝勤にも参列され、二宮別當から親しく御挨拶をさせて頂きました。

身延山布教部 来山

4月28日、身延山久遠寺の布教隊一行、63名が参籠されました。

身延山布教部の吉村部長をはじめ、身延山高等学校の新生や、僧道実修生、そして僧侶になろうと親元を離れ、仏道修行に励む本院生の新生と、それを訓育する指導員等の方々が、清澄以外にも、日蓮聖人の霊跡寺院を1泊2日で参拝されます。

また来山時には、本院生並びに実修生を筆頭に、唱



題行脚にて来山し一読され、唱える御題目、打ち鳴らす太鼓の音は、境内に響き渡る勇ましいものとなりました。

千葉県西部

「いのりの日」

4月29日、千葉県西部宗務所(土井了真所長)主催の「いのりの日」が開催され、教師、寺族、檀信徒総勢370余名が参加し、登山修行が行われました。

本年は、日蓮大聖人の御母堂妙蓮尊儀750遠忌を

平成28年に控えた宗門史跡両親闍妙蓮寺の参拝が、新たに加えられ、管内の茂原、市原、木更津などを出発したバスは、3つの班に分かれ「妙の浦」「誕生寺」「妙蓮寺」を各班のスケジュールで参拝し、各バスにて清澄寺に到着されました。

その後、各部屋にて御題目写経、昼食。

信育道場を会場に唱題行を行ってから、唱題行進にて旭が森を参拝。

参加者は日蓮大聖人へ感謝の御題目を唱えました。

計報

「第12代別當 中條日傳猊下 御遷化」



下猊中條の日しり

当山の第12代別當でありました、福井県の大乗寺住職中條令紹(東周院日傳)上人が、平成27年4月8日、世寿79歳をもって御遷化なされました。

平成19年9月19日、池上本門寺貫首酒井日慈管長猊下より辞令が交付され就任。

約3年という期間でしたが、護山の為、お尽くしいただきました。

本葬儀には、二宮別當が出向し、ご回向申し上げます。



相次ぐ新入社員研修

アイディーホーム株式会社

東京に本社のあるアイディーホーム株式会社様の
新入社員研修が、3月29日

より31日までの2泊3日に
わたって開催され、24名の
新入社員が研修を受けまし
た。(写真左)

研修期間中は、地元千葉
県南部管内より佐々木教道



師、早島英観
師が山務員と
して指導にあ
たり、『ゆっく
りと』『ていね
いに』を基本
とした僧風生
活を通して、
『整える』を研
修のテーマに
置き、社会人
になるという
心の育成を目
指した数々の
カリキュラム
が組み込ま
れ、新入社員
は熱心に研修
を受けており
ました。



開会式：正座に耐える新入社員

SSCK

株式会社

東京に本社のあるSSCK
株式会社様の新入社員研
修が、4月6日より7日ま
での1泊2日にわたって開
催されました。(写真右)

昨年より人数も増え、1
50名の新入社員が研修を
受けられ、研修期間中は、
千葉県西部の高鍋隆盛師を
中心に、地元千葉県南部管
内より西川辨雄師、松岡教
光師が山務員として指導に
当たられました。

昨年同様、僧風生活に身
を置き、日常とは違った生

活の中で、社会人としての
心構えの教育等を養う研修
を熱心に受けておりまし
た。

BSスカパーの撮影

『朝のおつとめ』

『朝のおつとめ

日蓮宗大本山 清澄寺』

日蓮聖人を語る上で欠か
す事の出来ない当山清澄
寺。その歴史と、休む事な
く続けられてきた朝のおつ
とめ。

そして宿坊、精進料理、
写経状況等が撮影され、番
組の最後には、二宮別當よ
りありがたい法話が、収録
されました。



縁起説明の荻野山務員
放送日程：8月14日の11時～BSスカパーで

清澄ゆりの里



6月に入って、仏舎利塔
境内に1万3千本の色とり
どりのユリの花が咲き始め
ました。

区の活性化計画の一環と
して始められ、6月13日に
は清澄区主催により各団体
を招いてお披露目会が行わ
れました。

海を見下ろす壮大な景色
の中にユリの花が目飛び
込んでまいりました。